

株主メモ

事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで

定期株主総会 每年6月

基準日 定時株主総会 每年3月31日

期末配当金 每年3月31日

中間配当金 每年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社ホームページに掲載する

<http://www.daidoh-limited.com/>

ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

名古屋証券取引所市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。



株式会社ダイドーリミテッド

経理財務部

〒101-8619

東京都千代田区外神田三丁目1番16号

TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

第91期報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

DAÏDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205





株主の皆様へ

将来に向けて事業の見直しと再構築をはかり、 利益体質の構築を推進してまいります。



代表取締役社長

大 い 伸



代表取締役副社長

川 西 靖 彦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、将来に向けて事業の再構築をはかり利益体質の構築を推進しております。

事業環境が変化していく中で、社員全員の総合力を結集して経営改革を実行し、中長期にわたりお客様からご信頼いただける企業としての発展と社会への貢献を果たす所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などの効果により、円高是正や株価上昇の動きなど国内経済の回復の兆しが見られました。しかしながら、不安定な世界経済などの影響も受け、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界につきましては、資産効率や景気回復の期待感はあるものの、全体の消費マインドの改善にはいたらず、引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境のなか、衣料事業につきましては、中国工場において在庫の処分などを行ない経営の効率化を進めてまいりましたが、原材料や労務費の高騰などが続いており、現状では直ちに収益性の改善をはかることは困難であり投下資本の回収は難しいことなどから、固定資産の減損損失を計上いたしました。日本国内においては、不採算店舗の撤退や販売経路の拡充をはかり、OEM(取引先ブランド製造卸)は利益率や資金効率の悪い事業を縮小してまいりました。不動産賃貸事業につきましては、小田原の商業施設「ダイナシティ」イースト館のリニューアルや本社ビルの耐震補強工事を実施し、収益力向上にむけた投資を行なってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は26,024百万円(前期比5.9%減)、営業損失は531百万円(前期は営業利益705百万円)、経常損失は48百万円(前期は経常利益1,075百万円)、特別利益63百万円および固定資産の減損損失等の特別損失1,455百万円を計上いたしました結果、当期純損失は1,817百万円(前期は当期純利益362百万円)となりました。

中長期的な取り組み

中国における衣料品製造工場は、将来を見据えて土地・設備の有効活用をはかり、より付加価値を生み出せる企業に転換するために経営体制の抜本的な改革を進めております。今後も市場が求める製品を提供しつつ製造工程の見直しや再配置を進め、受注増加に向けた活動も強化し、品質競争力・コスト競争力を高めてまいります。

オーダースーツストアの「ミリオンクラブ」は、東京駅八重洲北口に日本第2号店をオープンいたしました。「ニューヨーカー」ブランドのパターンメイドや日本・中国および欧米向けのオーダーの受注を含め、パターンメイド事業の強化に取り組んでまいります。

当社の主力ブランドである「ニューヨーカー」は、2014年1月にブランド創設50周年を迎えました。節目の年を迎えて「ハウスタータン」をイメージの中心としたマーケティングを強化し、ブランド価値をさらに高めてまいります。日本においては、多様化する顧客の志向への対応と新たな消費者への訴求のため、販売経路と商品構成の拡充を進めてまいります。中国を中心としたアジア市場においては、日本でのマーケティングと連動してブランド価値を確立するとともに、商品と店舗の見直しを行ながら収益性向上を目指してまいります。

不動産賃貸事業では、小田原の商業施設「ダイナシティ」イースト館のリニューアルを実施いたしました。また、災害等の避難発生時に必要最低限の電力を確保することを目的として、イースト館屋上に太陽光発電・蓄電設備を導入しております。引き続き、地域密着・地域貢献という原点を大切にしながら、エンターテイメント性の向上やファミリー層向けの対応を強化して施設全体の魅力を高めてまいります。



特集①：ニューヨーカー50周年の取り組み

50周年を迎える、ニューヨーカーは
さらに進化し続けます



さらなる“上質”を求めて…

NEWYORKER

2014年で50周年を迎えた当社主力ブランドの『ニューヨーカー』は、より一層の“上質”を追求したライフスタイルブランドとして独自の商品とサービスを展開しております。今後も、ハイクオリティを背景に、ベーシックでありながら時代の空気やトレンドのエッセンスをプラスしたスタイルを提案してまいります。



“次代”的創造へ…

NEWYORKER BLUE

“気分にまかせ、お気に入りを身にまとう”
毎日着たいをコンセプトに、遊び心のあるトラッドカジュアルスタイルを提案する新ブランド『ニューヨーカー ブルー』が、2014年の春夏シーズンから展開スタート。ニューヨーカーが今まで培ってきた“トラディショナルマインド”をベースに、新しい日常の過ごし方を想像したときに“着たい”“欲しい”と思いたくなるものを提供する、そのようなブランドを目指します。

主力ブランド、ニューヨーカー旗艦店が
この秋銀座にオープン

NEW
OPEN

ブランドシンボルの
ハウスターが特徴的な外観と、
その中に広がる
重厚でモダンな空間



NEWYORKER

2014年9月、ニューヨーカーの旗艦店が銀座に
オープンいたします。“ニューヨーカーアパートメントホ
テル”をストアコンセプトに、ラグジュアリー感を醸し
出しつつ、心寛ぐ空間を目指します。

今後は、銀座店を中心に、全国に向けさらなる
ニューヨーカーブランドの浸透を図ってまいります。

ニューヨーカー2014年春夏コレクションの紹介



Theme for Spring

Portrait -Treasure / Indigo-

ニューヨークを代表するレストランや高級住宅が並ぶトライベッカエリア。そこに暮らすふたりの男女の日常のポートレートがコンセプト。



Theme for Summer

Timeless Journey -Urban Pastel / Urban Organic-

バカンスにふさわしい、輝く太陽のシーズン。ふたりの終わらない旅がコンセプト。

特集②：ダイナシティの運営状況

さらに地域に愛されるダイナシティへ



ウェスト
館



イースト
館



当社の不動産賃貸事業における主要施設「ダイナシティ」は、オープン以来、地域住民の皆様の暮らしに密着したショッピングセンターとして成長してまいりました。昨年は「私の“隣”にあるショッピングセンター」をコンセプトに「イースト館」のリニューアルを実施。週末には様々なイベントが盛んに催される「ウェスト館」とあわせ、さらに地域に愛される「ダイナシティ」として生まれ変わっています。今後も引き続き、地域密着・地域貢献という原点を大切にしながら、施設全体の魅力を高めてまいります。

地域のお客様と共に歩んできた 軌跡が評価され、2つの賞を受賞

『第3回地域貢献賞』受賞

2013年、一般社団法人日本ショッピングセンター協会が選考する、地域に貢献するショッピングセンターに贈られる「地域貢献賞」を受賞。

『第16回ディベロッパー & テナント大賞』 特別賞(地域共生賞)受賞

2014年、織研新聞社が選考する、優秀な商業施設とテナントに贈られる「ディベロッパー&テナント大賞」特別賞(地域共生賞)を受賞。

太陽光発電・蓄電池設備を導入

「ダイナシティ」「ウェスト館」では、災害等の避難発生時に必要最低限の電力を確保することを目的として、2014年3月、屋上に太陽光発電・蓄電池設備を導入いたしました。



「ウェスト館」屋上に設置された
太陽光発電パネル

ダイナシティ主催イベントのご案内

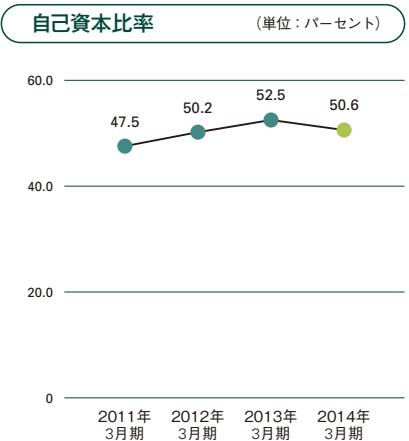
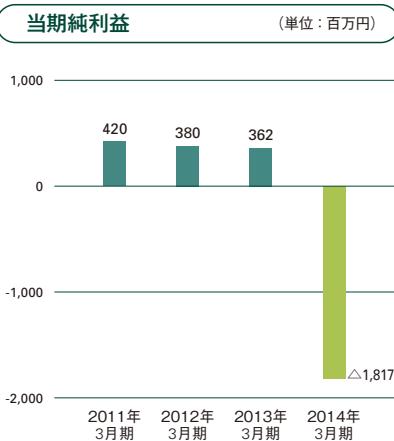
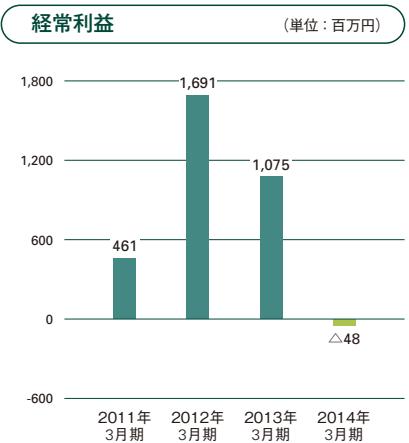
「ダイナシティ」では、四季折々にイベントを催しております。夏には恒例となる「ダイナシティ サマーバラダイス」(2014年7月19日～7月21日)を開催予定。「エスト館」屋外ステージにて4、5組のアーティストによるコンサートが行われます。今年は「沖縄」をテーマにお客様を盛り上げてまいります。

昨年の「ダイナシティサマーバラダイス」の模様



連結財務ハイライト

(特に記載のない限り2014年3月31日現在の状況です。)



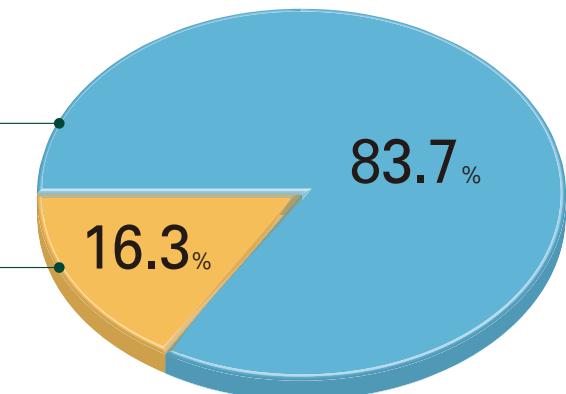
事業別営業概況(連結)

株式会社ニューヨーカーを中心とする小売販売は、秋の台風や降雪など天候不順の影響はありました。新しい販売チャネルとして取り組んでおりますオンラインストアは、取扱品目を拡大し会員数も増加しており、売上高を大幅に拡大しております。オーダースーツストア「ミリオンクラブ」は、日本第2号店である東京店をオープンいたしました。

OEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売は、当社グループの生産工場以外で製造加工する利益率・資金効率の低い事業を縮小したため、売上高は前期比で減少いたしました。

以上の結果、売上高は21,941百万円(前期比4.8%減)、セグメント損失(営業損失)は1,606百万円(前期は営業損失631百万円)となりました。

衣料事業



小田原の商業施設「ダイナシティ」イースト館のリニューアルによる一時的な営業日数の減少や、本社ビルの耐震補強工事を実施いたしました影響などで、売上高が減少いたしました。「ダイナシティ」イースト館は11月にリニューアルオープンし、前年を大きく上回る数のお客様にご来館いただき、順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,284百万円(前期比11.1%減)、セグメント利益(営業利益)は859百万円(前期比25.3%減)となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額26,226百万円を分母として算出)。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

	前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在	増減額		前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在	増減額
資産の部							
● 流動資産	25,587	12,551	△ 13,035	● 流動負債	10,387	10,252	△ 135
現金及び預金	4,183	3,398	△ 784	支払手形及び買掛金	947	854	△ 92
受取手形及び売掛金	3,132	2,964	△ 168	短期借入金	3,860	4,520	660
有価証券	11,714	—	△ 11,714	1年内返済予定の長期借入金	1,660	1,660	—
たな卸資産	5,186	4,683	△ 503	その他	3,920	3,217	△ 702
繰延税金資産	253	183	△ 69	● 固定負債	12,505	12,059	△ 446
その他	1,162	1,371	208	長期借入金	4,510	4,850	340
貸倒引当金	△ 46	△ 49	△ 2	長期預り保証金	6,376	5,857	△ 519
● 固定資産	23,080	33,008	9,928	その他	1,619	1,351	△ 267
有形固定資産	11,730	10,909	△ 820	● 負債合計	22,893	22,311	△ 581
無形固定資産	1,219	939	△ 280	● 純資産の部			
投資その他の資産	10,130	21,159	11,029	株主資本	23,716	20,767	△ 2,949
投資有価証券	7,807	18,671	10,863	資本金	6,891	6,891	—
繰延税金資産	397	584	187	資本剰余金	8,657	8,612	△ 45
その他	2,307	2,111	△ 195	利益剰余金	12,016	9,126	△ 2,890
貸倒引当金	△ 382	△ 208	174	自己株式	△ 3,849	△ 3,863	△ 13
● 資産合計	48,667	45,560	△ 3,107	● その他の包括利益累計額	1,819	2,303	484
資産合計				その他有価証券評価差額金	1,414	575	△ 839
				為替換算調整勘定	405	1,728	1,323
				新株予約権	153	101	△ 51
				少数株主持分	84	75	△ 8
				● 純資産合計	25,774	23,248	△ 2,525
				● 負債純資産合計	48,667	45,560	△ 3,107

流動資産
現金及び預金が7億84百万円減少したこと、有価証券を固定資産の投資有価証券に組み替えて有価証券が117億14百万円減少したことなどにより、当期末の流動資産は前期末に比べて130億35百万円減の125億51百万円となりました。

固定資産
当期末の固定資産は、前期末に比べて99億28百万円増の330億8百万円となりました。商業施設のリニューアル実施等により有形固定資産の取得を行いましたが、減価償却の実施や減損損失の計上により有形固定資産が8億20百万円減少したこと、投資有価証券が108億63百万円増加したことなどによるものです。

資産合計
資産合計は前期末比31億7百万円減少し455億60百万円となりました。

有利子負債

有利子負債残高は、前期末に比べて10億円増の110億30百万円となりました。短期借入金を6億60百万円、長期借入金を3億40百万円、それぞれ増額いたしました。

負債合計

短期・長期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金、長期預り保証金が減少したことなどから、負債合計は前期末比5億81百万円減少し223億11百万円となりました。

純資産合計

利益剰余金が減少したことなどから、純資産合計は前期末比25億25百万円減少し232億48百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末比1.9ポイント低下し50.6%となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

単位：百万円

	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	増減額
売上高	27,663	26,024	△ 1,639
売上原価	13,581	13,221	△ 359
売上総利益	14,082	12,802	△ 1,279
販売費及び一般管理費	13,377	13,334	△ 43
営業利益又は営業損失(△)	705	△ 531	△ 1,236
営業外収益	738	858	119
営業外費用	368	376	7
経常利益又は経常損失(△)	1,075	△ 48	△ 1,124
特別利益	1,238	63	△ 1,175
特別損失	1,350	1,455	105
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	964	△ 1,440	△ 2,404
法人税、住民税及び事業税	864	470	△ 393
法人税等調整額	△ 255	△ 65	190
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	355	△ 1,846	△ 2,202
少数株主損失	△ 6	△ 28	△ 21
当期純利益又は当期純損失(△)	362	△ 1,817	△ 2,180

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：百万円

	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,992	1,222	△ 1,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	592	△ 1,710	△ 2,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,275	△ 342	1,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	45	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,345	△ 784	△ 2,130
現金及び現金同等物の期首残高	2,837	4,183	1,345
現金及び現金同等物の期末残高	4,183	3,398	△ 784

グループ編成

事業活動と 主要なグループ会社

売上高

売上高は前期比5.9%減の260億24百万円となりました。これは主に、衣料事業においてOEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売について利益率や資金効率の悪い事業を縮小したこと、不動産賃貸事業において商業施設のリニューアルや本社ビルの耐震補強工事を実施した影響などによるものです。

売上総利益

売上総利益は、製造部門において製造原価率が上がったことや在庫の処分を行ったことなどにより、金額は12億79百万円減少し、売上高比は前期比1.7ポイント低下して49.2%となりました。

営業利益又は営業損失

前期の営業利益7億5百万円から12億36百万円減少して、営業損失5億31百万円となりました。これは主に、売上総利益額が減少したこと、中国の製造部門の人事費増加の影響により販売費及び一般管理費が増加したことなどによるものです。

当期純利益又は当期純損失

前期の当期純利益3億62百万円から21億80百万円減少して、当期純損失18億17百万円となりました。これは主に、固定資産の減損損失等の特別損失を計上したことなどによるものです。



衣料事業

製 造 大同利美特(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)

大同佳樂登(馬鞍山)有限公司
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)

大同利美特時裝(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

大同利美特染整(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

NEWYORKER

販 売 株式会社ニューヨーカー
上海纽约克服装销售有限公司
(SHANGHAI NEWYOKER CLOTHING SALES CO., LTD.)

株式会社ダイドーインターナショナル

大同利美特商貿(上海)有限公司
(DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)

* 株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン

Brooks Brothers

買 易 大同利美特貿易(上海)有限公司
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

* =持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ

Dynacity

統括及び管理会社

大都利美特(中国)投資有限公司
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

(注) 2013年12月に、愛雅仕商貿(北京)有限公司は清算いたしました。

(特に記載のない限り2014年3月31日現在の状況です。)

会社情報

(特に記載のない限り2014年3月31日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

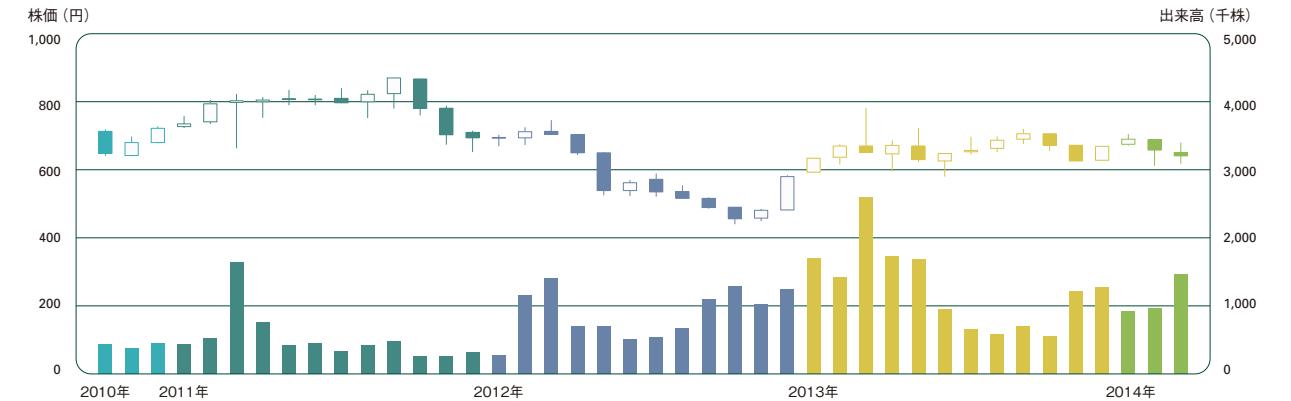
創業 1879年(明治12年)1月
設立 1949年(昭和24年)10月17日
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役 (2014年6月27日現在)

代表取締役社長	大川 伸
代表取締役副社長	川西 靖彦
常務取締役上席執行役員	戸澤 かない
取締役執行役員	福羅 喜代志
取締役執行役員	大嵐 啓介
取締役執行役員	上條 浩之
監査役(常勤)	林 玄
監査役(常勤)	鈴木 森夫
監査役(弁護士)	田口 哲朗
監査役(弁護士)	武田 昌邦

(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

株価の推移グラフ



株式関連情報

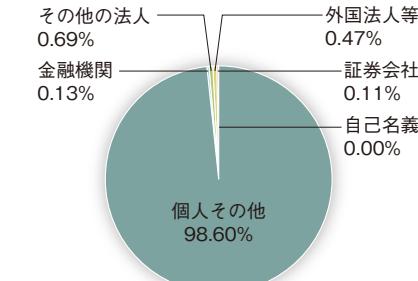
株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

株主数 20,703名
(前期末 16,201名)

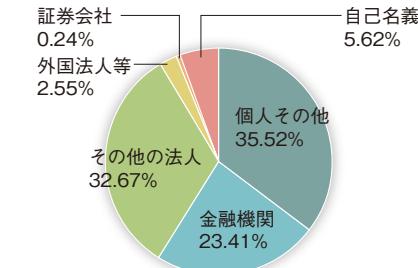
所有者別株主数分布



大株主

株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	76,000
株式会社ソニー	15,950
三井住友海上火災保険株式会社	12,927
三井住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほ銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
ダイドーリミテッド取引先持株会	5,280

所有者別株式数分布



*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。